

# Foresight School

行動観察によるイノベーション創出、その方法論と実践

講師 松波晴人（大阪ガス行動観察研究所 所長）

## 開講日時：

第1回：11月10日(木)：18時～19時30分  
第2回：11月17日(木)：18時～21時  
第3回：11月24日(木)：18時～21時  
第4回：12月1日(木)：18時～21時  
第5回：12月8日(木)：18時～21時  
第6回：12月15日(木)：18時～21時  
第7回：12月22日(木)：18時～21時  
第8回：1月12日(木)：18時～21時

## 場所：

大阪大学豊中キャンパス  
全学教育総合棟 I 2階セミナー室A

## 対象：

大阪大学学生（定員20名）  
ただし、初回（11月10日）は一般公開

## 受講料：

無料

## 目的と概要：

- ・「モノ、サービス、社会」において、新しい価値を創造するための「スキル/知識/マインドセット」を学ぶ
- ・新価値創造のためのプロセスは、下記の行動観察の方法論に基づく
  - ①finding(気づきを得る) → ②insight (洞察を得る) → ③foresight (展望を生む) → ④action (実行する)
- ・受講者はコース全体をとおして「組織における新価値創造の担当者」としての役割を担い、「実践（まずは行動）→学習（行動の結果と理論から学ぶ）→実践（学びを得た上で行動する）」のプロセスを通じて、ビジネスにおいて実際に成果を生む能力を身につける
- ・イノベーション創出のために、以下の内容を身につける
  - 1) スキル： 気づき力、洞察力、創造力、実行力
  - 2) 知識： 人間・世の中の動向についての深い理解（心理学など）
  - 3) マインドセット： 自己効力感、チャレンジ精神、他己実現

【お申し込み】氏名、所属、メールアドレスを明記の上、件名を「フォーサイトスクール」とし、edge@celas.osaka-u.ac.jp 宛てにメールをお送りください。

【お問い合わせ】メールにて edge@celas.osaka-u.ac.jp までご連絡下さい。

予定：

## 第1回：イントロダクション

課題認識の共有： 新価値創造・イノベーションについての背景・実態

行動観察の方法論の概要： どうすれば新価値を生めるのか、fact→insight→foresight→actionの流れとワーク

## 第2回：気づき①+洞察①（方法論を学ぶ）

- ・気づきの実践と理解： 気づきとは何か？ 気づきを妨げる人間の4つの認知的バイアスとは
- ・観察と共感に基づく気づきの実践： インターフェース操作、共感ワークによる、アブダクションの理解
- ・リフレームの解説、実践
- ・発想法としてのKJ法の実践： KJ法による気づきの統合  
→2週と3週の間、各自でフィールド観察

## 第3回：気づき②+洞察②（方法論の実践）

- ・実プロジェクト（1）における気づきの実践と共有
  - ・クライアントへのインタビュー
  - ・各自フィールドを観察した結果、得られた気づきをまとめる
  - ・気づきの統合、ソリューション案の検討、レポートのまとめ

## 第4回：気づき③+洞察③（実行）

- ・行動観察の結果をクライアントに報告
  - ・「fact→insight→foresight」の形式で
    - ・実行案の意思決定
    - ・人間行動の統合的解釈： アブダクションの理解と実践
    - ・実プロジェクト（2）の趣旨説明、実行計画立案
- 第4回と第5回の間、各自でフィールド観察

## 第5回：洞察④（方法論の実践）

- ・実プロジェクトにおける洞察の導出と共有
  - ・クライアントへのインタビュー
  - ・気づきの統合、リフレームされた洞察の導出、まとめ

## 第6回：展望①（方法論を学ぶ）

- ・ニーズ対応型ソリューションの導出： 業界常識と新たな洞察の統合（ライン拡張編）
- ・ありたい未来の姿型ソリューションの導出： 新たな洞察と世の中の動向の統合（カテゴリ拡張編）

## 第7回：展望②（方法論の実践）

- ・実プロジェクトにおける洞察の導出と共有
  - ・気づきの統合、リフレームされた洞察の導出、展望の創造、レポートのまとめ

## 第8回：展望③（実行）

- ・行動観察の結果をクライアントに報告
- ・実行案の意思決定
- ・新価値創造における組織の課題とあり方
- ・受講者が人生を通じて貢献したい「世の中の未来のあり姿」の検討と発表

特記事項：

- ・講義に加えて、フィールドワークやディスカッションなどを実施します
- ・コース全体を通して、具体的なアウトプットを出すプロジェクトを1つ以上実施します。また、各授業においても様々なワークを用いて実践を行います。

教科書・教材

- ・「行動観察」の基本（松波晴人著、ダイヤモンド社）
- ・あなたの人生の科学(上)(下)（デイヴィッド・ブルックス著、ハヤカワ文庫NF）  
（単行本版で同内容の「人生の科学：「無意識」があなたの一生を決める（早川書房）」も可）

参考文献

- ・「常識を乗り越え、みずから変化を生み出す法 行動観察をイノベーションへつなげる5つのステップ（松波晴人）」ハーバード・ビジネス・レビュー論文

講師からのメッセージ

行動観察の方法論（fact→insight→foresight→action）は、そのまま「学びのプロセス」でもあります。コンピュータやロボットが人間の仕事を奪う中、それぞれのステップに必要な「気づき力」「洞察力」「創造力」「リーダーシップ」は人間にしかできない能力で、今後重要性が増すものと考えられます。本講義が目指す方向性について共感される方はぜひ受講ください。

コーディネーター 松行輝昌（大阪大学准教授）

